

# 地域・社会とともに

三菱地所グループは、企業市民として社会との調和を大切にしながら、三菱地所グループの特色を活かしたさまざまな活動を推進することで、より良い地域・社会づくりに貢献します。

## 基本的な考え方と実績

### 社会貢献活動基本方針

三菱地所グループでは、1994年に制定した社会貢献活動理念を、社会的課題の変化やグループ全体としての

取り組みの必要性などの観点から見直し、2008年4月に「三菱地所グループ社会貢献活動基本方針」を策定しました。

### 三菱地所グループ社会貢献活動基本方針

#### 1 社会的課題の解決と自らの成長

良き企業市民として社会的課題の解決を目指し、活動を通して自らも成長をはかります。

#### 2 三菱地所グループらしい活動の展開

事業領域の内外において、経営資源を生かした、三菱地所グループらしい特色ある社会貢献活動を展開します。

#### 3 社会との連携

対等、信頼、対話を基本として、さまざまな団体と連携して、透明でフェアな活動に努めます。

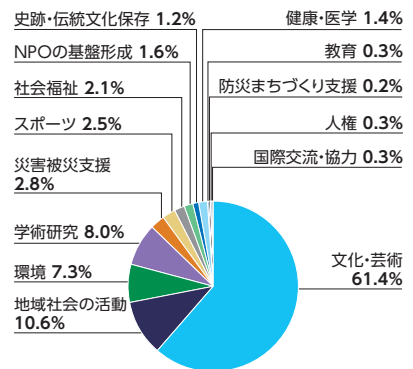
#### 4 重点分野

「地域社会との共生」「文化・芸術支援」「環境保全」「社会福祉」を重点分野として取り組みます。

### 支出内訳

2012年度、三菱地所グループ全体の社会貢献活動支出は約1,660百万円で、経常利益の1.80%にあたります。その内訳は下図の通りです。

### 社会貢献活動実績(2012年度)



## 地域社会との共生

### Rebirth 東北フード プロジェクト



三菱地所(株)では、当社グループの経営資源を活かし、グループ会社と連携し、東日本大震災において大きな被害を受けた東北エリアの自立的な経済復興を、食ブランドの再生を通じて支援する取り組みとして、「Rebirth東北フードプロジェクト」をスタートしました。

第1弾として2011年11月に仙台ロイヤルパークホテルで「東北・食のビュッフェ」、第2弾として2012年2月に丸ビル1階の丸の内カフェで「はらくつつい宮城食堂」、そして第3弾として2012年4月に仙台ロイヤルパークホテルで「シェフの絆」をテーマに丸の内シェフズクラブのシェフと宮城

県のシェフがパートナーを組み、新メニューの共同開発を行い、オリジナルメニューをコース仕立てで提供するイベントを開催しました。

その後第4弾として2012年8月には丸ビル・マルキューブにて「はらくつつい宮城市場」、続く第5弾として、2013年3月に新丸ビル7階の丸の内ハウスおよび丸ビル1階の丸の内カフェにて「被災地応援ウィーク」を開催。東北エリアの食生産者らを支援する被災地応援ファンドへ出資し、出資先の生産者の食材を用いたオリジナルメニューを提供しました。

このほか、三菱地所は、復興庁宮城復興局の主催により、被災地域企業とその支援企業のマッチングを行う地域復興マッチング「結の場」(第1

回は2012年11月に石巻市、第2回は2013年2月に気仙沼市で各々開催)に参加し、両地域の水産加工業者の支援策を提案し、順次実施しています。



第4弾「はらくつつい宮城市場」開会の様子



マルシェの様子

【都市と農山村をつなぐ「空と土プロジェクト」】

「空と土プロジェクト」では、グループ社員やその家族、丸の内エリアの就業者、住宅事業のお客さまなどを対象としたさまざまな体験ツアーを実施し、地域資源と三菱地所グループの事業との連携した活動を推進しています。

2011年度よりスタートしたマンション契約者と入居者の会員組織「三菱地所のレジデンスクラブ」の会員を対象としたツアーでは、田植え体験、夏野菜収穫体験キャンプなどを開催し、

マンションのコミュニティ形成にも役立っています。

また、三菱地所ホーム(株)では、「空と土プロジェクト」との連携を通じ、三菱地所・三菱地所ホーム・NPO法人えがおつなげて・山梨県の四者で締結した「山梨県産材の利用拡大の推進に関する協定」のもと、山梨県産材の普及・啓発活動を推進しています。

食をテーマとした活動では、遊休農地を開墾し、棚田を復活させ、無農薬の酒米づくりを行っています。山梨県内の蔵元「萬屋醸造店」で醸造された「純米酒『丸の内』」は、2012年度は

4,700本できあがり、丸の内エリアのレストランなどで販売、提供され、人気を博しています。また、山梨県商工会連合会と連携し、山梨県の食材を使った料理フェアやイベントなどにも協力しています。

このような活動が評価され、2012年度には、「第9回パートナーシップ大賞」パートナーシップ賞・中日新聞社賞を受賞しました。

今後も木材や農作物などの地域資源と企業の経営資源を融合させ、新たな価値を生み出していくことを通じて、地域の活性化に貢献していきます。

## ステークホルダーミーティング

事業活動を通じたCSR活動を推進する三菱地所グループの取り組みの中から、「空と土プロジェクト」における従来の活動および2013年度の活動の方向性を説明し、ステークホルダーの皆さまからご意見をいただきました。

開催日時: 2013年2月25日(月) 16:00~18:00



### 社外参加メンバー



NPO法人  
農商工連携  
サポートセンター代表  
**大塚 洋一郎氏**

活動内容の拡がり・深まりが進んでいる一方で、担当セクションの人数が変わっていないということは、本業との連携が進んでいることを示している。この成功を東北での震災復興活動につなげていければ良いと思う。



一般社団法人  
ロハス・ビジネス・  
アライアンス(LBA)  
共同代表  
**大和田 順子氏**

5年間の活動を通して、各事業グループを巻き込んで本業と連携しながら活動を広げてきたと評価できる。現状を正しく把握し、次の5年間につなげていく指標として当プロジェクトについてグループ社員の認知度や参加意欲などのアンケートを行うことを推奨する。



IIHOE  
[人と組織と地球のための  
国際研究所]  
**川北 秀人氏**

これまでの5年間はグループ社員を巻き込む期間であったとすると、次の5年間は顧客を巻き込む期間としてほしい。2012年度よりレジデンスクラブ対象のツアーが本格稼働したが、参加を通して、顧客が自らの住むマンションのコミュニティ形成の担い手となり、ロイヤルティも高まることを期待したい。



NPO法人  
えがおつなげて  
代表  
**曾根原 久司氏**

増富(山梨県北杜市)での活動を軸に、いろいろなネットワークが樹形状に広がっていることを確認した。本プロジェクトをモデルにしたいと、国内行政や海外の大学などからの講演・会議の招聘もあり、社会的評価の高まりとともに、時代に求められていると感じる。今後ともに活動の活性化に努めたい。



東京農業大学教授  
地域環境科学部長  
博士(農学)  
**宮林 成幸氏**

毎年、活動の幅が広がっている。今後は、当プロジェクトを独立させ、全国展開してはいかがか。人の交流が、地域活性・国土を守ることへとつながる。私自身、地域との交流活動に参加し30年以上経過しているが、参加者の第2の故郷となっている。増富がツアー参加者の故郷となり、永続的な「ひと」と「もの」と「知恵」の交流となることを期待する。

※2/25は欠席され、後日コメントを頂戴しました。



**「人・まちをつなぐ  
エコキッズ探検隊&出前授業**

エコキッズ探検隊は、三菱地所(株)が会長会社を務める「大手町・丸の内・有楽町地区まちづくり協議会」と、「大丸有環境共生型まちづくり推進協会」、「大丸有エリアマネジメント協会」のまちづくり3団体が主催となり、2006年より実施している子ども向け環境教育プログラムです。昨年は「リアルな体験」をキーワードに、エリアの飲食店と生産者共同で開催したキッズ

マルシェ販売体験や、技術職経験者の企業OBがプロデュースした理科実験教室など、楽しみながら学ぶ体験プログラムを22講座提供しました。また、夏だけではなく秋以降も千代田区と連携し、区内小学校の副校長会にて「エコキッズ探検隊」の出前授業を提案、理科実験教室やエコクッキング教室などの講座を6校で全7回開催しました。大丸有と周辺地区との連携や、小学生からシニアまでの多様な人のつながりを生むことが、社会に新し

い価値を創造することにつながると考えます。



エコキッズ探検隊出前授業：  
理科実験教室（番町小学校にて）

**文化・芸術支援**

**三菱地所アルティアム  
「未来のうけざら賞」を受賞**

三菱地所(株)は、福岡市の天神地区にある「イムズ(天神MMビル)」の8階でアートギャラリー「三菱地所アルティアム」を(株)イムズおよび(株)西日本新聞社と協力して運営しています。

“アートのスタジアム”を意味する「三菱地所アルティアム」は、1989年に現代アートの発信拠点として誕生し、国内外で活躍する現代アーティストの先見性・革新性ある芸術表現を、既成の評価、ジャンルにとらわれることなく紹介し続けています。2012年10月には、公益社団法人企業メセナ協議会が主催する「メセナアワード」にて、三菱地所、イムズおよび西日本新聞社が「未来のうけざら賞」を受賞しました。

選考ポイントと理由は、国内外の新しい芸術表現を独自の視点で意欲的に企画し、いち早く触れることができる場を提供していること。また、四半世紀にわたり、九州・福岡からの文化発

信拠点として重要な役割を果たしていることが評価されました。

今後も、美術に限らず、建築やデザイン、映画、食など、現代の多様な芸術表現をジャンルフリーの理念で意欲的な企画として取り組み、新しいアートシーンを福岡から発信し続けていきます。



「未来のうけざら賞」受賞式

**「ラ・フォル・ジュルネ・オ・ジャポン  
『熱狂の日』音楽祭2012**

5月3日～5日に東京国際フォーラムで開催されたクラシック音楽の祭典「ラ・フォル・ジュルネ・オ・ジャポン『熱狂の日』音楽祭2012」。2005年からスタートしたこの音楽祭は、ゴールデンウィークに東京都心で開催さ

れる新しいスタイルの音楽祭として定着しており、丸の内エリアの活性化や文化発信に寄与しています。

三菱地所(株)は、協賛企業として第1回から参加するとともに、独自にエリアイベントとして、4月27日～5月5日の日程で、丸ビル・新丸ビルなどをはじめとする丸の内エリア各会場で無料コンサート118公演を開催しました。プロとして活躍するピアニストやオーケストラだけでなく、これからの活躍が期待できる学生の演奏家から演奏者まで多彩なアーティストたちが演奏し、エリア全体で音楽の祭典に取り組んでいます。



ラ・フォル・ジュルネ・オ・ジャポン  
「熱狂の日」音楽祭 エリアコンサート

## 環境保全

### 【 大手町・丸の内・有楽町 打ち水プロジェクト 】

大手町・丸の内・有楽町地区では、伝統的な生活の知恵「打ち水」でヒートアイランド現象の緩和をめざしたイベント「打ち水プロジェクト」を実施しました。三菱地所(株)が会長会社を務める「大手町・丸の内・有楽町地区まちづくり協議会」などで構成される実行委員会が主催し、2012年は7月27日

から8月14日までの期間に5会場で122団体、約2,900名の参加を得て、排水を再利用した「中水」を活用し、打ち水を行いました。

また、7月27日から8月31日までの期間には、毎夕、丸の内仲通りの路面店舗を中心に95店舗/施設が参加する「打ち水week 2012」も開催されました。

今後も、都市部特有のヒートアイラン

ド現象緩和に向けての取り組みを、さらに大きく楽しく発展させ、就業者・来街者どなたでも参加いただけるプロジェクトとしていきます。



打ち水プロジェクト

## 社会福祉

### 【 第11回キラキラと アートコンクール開催 】

三菱地所(株)では、障がいのある子どもたちの可能性を応援したいとの想いから、絵画コンクール「キラキラとアートコンクール」を2002年より毎年開催しています。

第1回は496点の応募作品でスタートし、第11回となる今回は、過去最多となる1,764点もの応募がありました。

全応募作品の中から、1次審査・三菱地所グループ社員審査・本審査を経て、優秀賞50点を選出し、その作品展

を横浜ランドマークプラザを皮切りに、全国6ヶ所の当社グループが運営管理するビル・商業施設で開催。そして、2月22日に、丸ビルホールで表彰

式を行いました。また、専用Webサイトで全応募作品を公開しています。

 **キラキラとアートコンクール**  
<http://www.kira-art.jp>

#### 第11回キラキラとアートコンクール概要

##### 作品募集(7~9月)

応募総数1,764点

##### 審査会(10月)

三菱地所グループ社員審査会には4日間で538名が参加

##### 優秀賞作品展開催(10~2月)

優秀作品50点を全国6会場(札幌・仙台・東京・横浜・大阪・福岡)で展示

##### 表彰式(2月22日)

優秀賞受賞者、保護者、学校関係者などをご招待して丸ビルホールにて開催



表彰式の様子

## ボランティア支援

### 【 社員のボランティア支援活動 】

三菱地所グループでは、グループ会社を含む社員を対象としたボランティアセミナーの実施、ボランティア支援制度の整備など、ボランティア活動に取り組みやすい環境づくりに努めています。

#### 三菱地所ボランティア支援制度の主な概要と利用実績

制度	概要	利用実績(のべ人数)		
		2010年度	2011年度	2012年度
ボランティア休暇	ボランティアを行う場合、積立休暇(特別有給休暇)を利用可	2	58	4
ソーシャル・ラーニング	就業時間内のボランティア活動可	3	5	5
ボランティア保険付保 <sup>(※)</sup>	ボランティア活動中の事故を補償する保険を会社が付保(家族も対象)	25	31	12
活動費補助 <sup>(※)</sup>	ボランティア参加費、交通費の一部を会社が補助	51	113	51

(※)グループ会社社員も対象とした制度。